

動作時の警報【漏電遮断器】

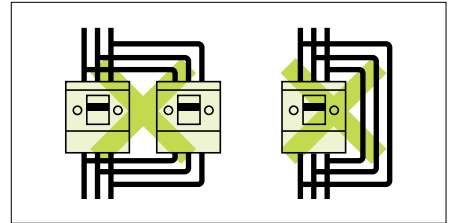
(内線規程1375-5)

遮断器の動作により電気の供給が長時間停止すると支障が出る場合(養殖場等)は用途に合わせて警報スイッチ仕様、補助スイッチ仕様をご検討ください。

並列接続、バイパス接続【漏電遮断器】

並列接続、バイパス接続は、いずれの場合も不平衡電流が流れて漏電遮断器が誤動作します。また、漏電遮断器が動作後も電圧が印加されるため危険です。

電源側、負荷側の接続の方向を規制している器種ではトリップコイルなど内部が焼損します。
図のような接続はしないでください。



単相3線式回路への接続

単相3線式回路へは、中性線欠相保護付配線用遮断器・漏電遮断器をご使用ください。

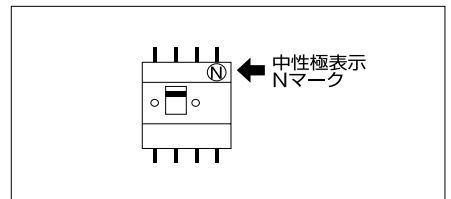
関連内線規程について(抜粋)

- 1360-3 配線用遮断器の規格及び選定
3. [中性線欠相保護]
単相3線式回路に施設する配線用遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものとする。
- 1375-2 漏電遮断器などの選定
5. 単相3線式回路に施設する漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものとする。

JISC8201-2-1 附属書XB	定格動作過電圧	135V
JISC8201-2-2 附属書XB	定格不動作過電圧	120V以上
JISC8211 附属書XB	定格過電圧動作時間	1秒以内
JISC8222 附属書XB		

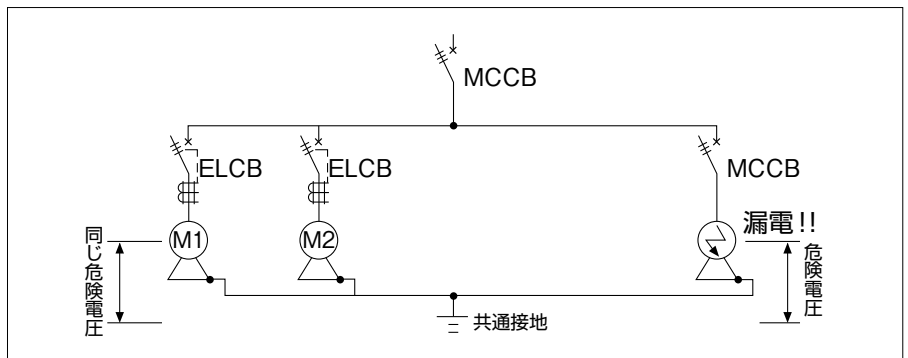
三相4線式回路への接続

三相4線式回路用4極ブレーカを使用し、三相4線式回路へ適用する場合、必ず中性線を中性線接続極へ接続してください。接続を誤ると正常な動作を行いません。



共通接地【漏電遮断器】

複数の電動機回路等において、漏電遮断器を取り付けた電動機と、取り付けない電動機のアース線を共用にすると、万一漏電遮断器を取り付けていない方の電動機で漏電があった場合、その対地電圧が共通接地線を通じて、漏電遮断器のある方の電動機にも危険電圧が生じることになります。この時は、その漏電遮断器は動作しませんので、大変危険です。このように共通接地を施設した機器については、全回路に漏電遮断器を取り付けてください。

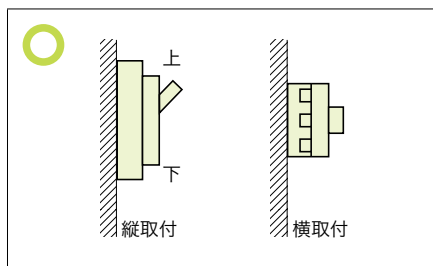


取付方向

遮断器は鉛直面取付が基本です。

熱動式、熱動電磁式のもの、その他の取付面でも問題はありません。
完全電磁式のものにおいては、鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますので、ご注意ください。

■良い例



■悪い例(完全電磁形)

